

Mizuho Daily Market Report

2023/5/5

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	134.66	134.29	▲0.42	+0.32
EUR	1.1059	1.1012	▲0.0050	▲0.0016
AUD	0.6675	0.6693	+0.0022	+0.0062
SGD	1.3282	1.3281	▲0.0022	▲0.0068
CNY	6.9139	6.9113	▲0.0013	▲0.0112
MYR	4.4553	4.4552	+0.0000	▲0.0081
THB	33.84	34.03	+0.00	▲0.11
IDR	14684	14680	▲5	▲23
PHP	55.36	55.37	▲0.00	▲0.37
INR	81.75	81.80	▲0.03	▲0.04

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.379%	+4.3 bp	▲14.2 bp
日本(10年)	0.421%	+0.0 bp	▲4.5 bp
ユーロ圏(10年)	2.190%	▲5.7 bp	▲27.0 bp
オーストラリア(5年)	3.035%	▲13.7 bp	▲6.7 bp
シンガポール(5年)	2.718%	▲5.4 bp	▲7.7 bp
中国(5年)	2.602%	▲1.9 bp	▲2.3 bp
マレーシア(5年)	3.465%	+0.0 bp	+2.6 bp
タイ(5年)	2.132%	+0.0 bp	+1.7 bp
インドネシア(5年)	6.183%	▲5.5 bp	▲11.4 bp
フィリピン(5年)	5.711%	▲14.7 bp	▲15.0 bp
インド(5年)	6.950%	+0.6 bp	▲4.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,127.74	▲0.9%	▲2.1%
N225(日本)	29,157.95	+0.0%	+2.5%
STOXX50(ユーロ圏)	4,287.03	▲0.5%	▲1.6%
ASX(オーストラリア)	4,201.23	▲1.0%	▲1.4%
FTSTI(シンガポール)	3,269.18	+0.2%	▲0.4%
SSEC(中国)	3,350.46	+0.8%	+2.0%
KLSE(マレーシア)	1,425.99	+0.0%	+0.6%
SETI(タイ)	1,533.30	+0.0%	+0.1%
JKSE(インドネシア)	6,844.027	+0.5%	▲1.5%
PSE(フィリピン)	6,684.35	+1.2%	+1.5%
SENSEX(インド)	61,749.25	+0.9%	+1.8%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	256.81	+0.1%	▲3.2%
金	2,050.28	+0.6%	+3.1%
原油(WTI)	68.56	▲0.1%	▲8.3%
銅	8,474.40	+0.4%	▲1.1%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	134.00	—	136.50
EUR/USD	1.0960	—	1.1100
AUD/USD	0.6620	—	0.6700
USD/SGD	1.3280	—	1.3380
USD/CNY	6.9000	—	6.9300
USD/MYR	4.4350	—	4.4820
USD/THB	33.85	—	34.10
USD/IDR	14580	—	14750
USD/PHP	55.00	—	55.50
USD/INR	81.50	—	81.90

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は134円台半ばでオープン。前日NY時間午後、FOMC後の米金利低下を意識して開始直後からドル売りが優勢となるも、引き続き東京休日で流動性も薄い中、すぐに下げ止まるとその後は小動き。日中を通して134円台半ばでの横ばい推移が続いていたが、欧州時間早朝には再び下落圧力が強まり、134円台前半まで下値を広げて欧州時間に渡った。アジア通貨は概ね上昇。前日のFOMCの結果を受けドル安が進展する中、堅調に推移。インドネシアは直近高値を上げ昨年6月以来の高値を付けた。

海外市場のドル円は米州時間朝方に発表された米第1四半期単位人件費が予想を上回った事が材料視され、134円台後半まで上昇する。しかし、米株式市場の軟調な展開や、米地銀を巡る不透明感が上値を抑え、次第に反落し134円台を割り込み133円台半ばまで下落。米州時間午後は米金利が持ち直した事から小幅反発し、134円台前半での推移が続き、134.27でクローズ。また、欧州時間にはECB会合が開催され、予想通り25bpの利上げが決定された。しかし、声明内で一定の引き締め効果が出ているとの見方が示され、ややハト派よりの内容となった事から、ユーロ売りが優勢となり1.10台を割り込む。ラガルドECB総裁の記者会見では追加利上げの可能性を示唆するも、1.10台前半で神経質な動きが続き、リスクオフムードのユーロ円の下落もあいまって、一時の1.09台後半まで下落となったが、その後は反発し、1.10台前半でクローズ。

【金利】

米金利市場は小幅に上昇。米地銀の破綻懸念の広がりから、短期ゾーンはリスクオフ主導での金利低下がみられる一方で長期ゾーンからは売り優勢となりカーブはスティープ化。

【予想】

本日のドル円は引き続き上値の重い推移を予想。利上げ停止が示唆されたことに加え、米地銀の破綻懸念が再度広がりがつある中、ドル安が進展するものと予想。

【本日の予定】

(日本) 休場 子どもの日
(アジア) 1Q インドネシア GDP
(アジア) 3月 シンガポール 小売売上高
(アジア) 3月 豪 投資家ローン額 / 持家住宅ローン / 住宅ローン額
(アジア) 4月 フィリピン CPI
(アジア) 4月 豪 外貨準備高
(アジア) 4月 豪 外貨準備高
(アジア) 休場 インド、韓国、タイ
(欧州) 1Q 仏 賃金(速)
(欧州) 3月 ユーロ圏 小売売上高
(欧州) 3月 仏 鉱工業生産 / 製造業生産
(欧州) 3月 伊 小売売上高
(欧州) 3月 独 製造業受注
(欧州) 3月 西 鉱工業生産
(米国) 3月 消費者信用残高
(米国) 4月 失業率 予想: 3.6% 前回: 3.5%
(米国) 4月 平均時給 予想: 0.3% 前回: 0.3%
(米国) 4月 非農業部門雇用者数変化
(米国) 予想: 175k 前回: 236k

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。